

海外安全対策情報（ポルトガル・2019年1月）

1 治安情勢等及び邦人被害の状況

（1）治安情勢等

ア 一般犯罪情勢

当国における2017年の犯罪認知総件数は341,950件で、2016年よりも3.3%増加した。このうち、凶悪犯罪認知件数は15,303件で、2016年よりも8.7%減少するなど、犯罪認知件数は微増に転じたものの、凶悪犯罪に関しては2003年以降、最も低い水準となった。なお、顕著に増加した犯罪は、通貨偽造、放火並びに商業施設強盗等である。

イ リスボン空港における犯罪の増加

治安警察庁（PSP）リスボン首都圏本部によると、リスボン空港の利用客の増加に伴い、空港内での犯罪が増加傾向にある。2018年1月から9月末までに発生した「置き引き」被害は161件で、2016年と2017年の合計を上回っている。

ウ 警察によるスリ防止対策

治安警察庁（PSP）リスボン首都圏本部では、2018年1月から9月末までの間、リスボン市内において210名をスリの容疑で逮捕した。逮捕者の大半が東欧諸国（ブルガリア、ルーマニア、マケドニア、コソボ、アルバニア等）出身者で構成されるギャングによる犯行で、上半期の被害総額は450万ユーロに達する。PSPは、スリ防止対策として、本部犯罪捜査課に専門対策チームを設置し、私服警察官による警戒強化、容疑者に関する情報収集等を行っている。

（2）邦人被害

10～12月の間、大使館に届けられた邦人の犯罪被害件数は14件（前年同期間中、大使館への届出数は17件（なお、昨年中における大使館への届出総件数は64件（平成29年から+2件）））。

依然として、観光客を狙ったスリ事件が多発しており、警察官による巡回が強化されている。

（ア）犯罪手口

強盗	0件
スリ	14件
置き引き	0件
車上ねらい	0件
手口不明	0件

(イ) 犯行時間帯

0～6時	0件
6～9時	0件
9～12時	1件
12～15時	5件
15～18時	4件
18～21時	4件
21～24時	0件
不明	0件

(ウ) 発生曜日

月曜日	4件
火曜日	0件
水曜日	3件
木曜日	1件
金曜日	1件
土曜日	2件
日曜日	3件

(エ) 発生場所

場所		件数
リスボン	リベルダーデ通り	0件
	バイシャ・シアード・アルファマ地区	8件
	ベレン地区	0件
	市電（28番，15番等）	2件
	その他交通機関内	1件
	ホテル、レストラン内	0件
	リスボン空港	2件
シントラ（ロカ岬，ペナ宮殿等）		0件
オビドス		1件
ポルト		0件
上記以外		0件
不明		0件

(オ) 日本人被害例

- リスボン市内バイシャ地区の路上でレストランのメニューを見ていたところ、気付くとリュックサックのファスナーが開いており、中に入れていたパスポートがなくなっていた。
- バイシャ地区を歩行中、気付くとズボンのポケットに入れていた財布がなくなっていた。
- リスボン市内を市電で移動中、混み合っていた車内において、肩掛けバッグの中から財布とパスポートを盗まれた。
- リスボン空港から出国する際、パスポートを確認しようとしたところ、リュックサックのファスナーが開いており、中から財布とパスポートが無くなっていた。

- リスボン空港において飛行機に搭乗する際、肩掛けポシェットに入れていたパスポートと搭乗券がなくなっていた。
- オリエンテ駅発の車内において、親切を装った男性に対応中、仲間と思われる女性に、肩に掛けていたショルダーバッグの中から財布とパスポートを盗まれた。

(カ) 対策

- 貴重品を入れたバッグ等は必ず目の届く所（正面）に所持して下さい。
- 観光客はスリ被害のターゲットになりやすいことを常に意識し、貴重品が入っているリュックサックやバッグは、定期的に関閉状況を確認するよう心掛けて下さい。
- 不測の事態に備え、常に周囲の状況を注視してください。背後から必要以上に接近する2～3人組等には特に注意が必要です。

2 報道による凶悪犯罪等の事例（日付は2018年）

日本人を狙った被害の発生は認められなかったが、外国人や観光客が被害者となる事件が発生している。

- 10月12日から19日までの1週間の間に、リスボン市内のホテル、交通機関、路上等で、観光客から財布等の所持品を盗んだ男女10人が逮捕された。いずれも現行犯逮捕され、盗難品は全て被害者に返還された。
- 10月28日午後10時半頃、25歳のイタリア人男性がリスボン市内を観光中、突然現れた2人組にけん銃様の物を突きつけられ、現金30ユーロ、身につけていた高級腕時計、携帯電話等を奪われた。
- 12月14日、リスボン市内バイロ・アルト地区で外国人観光客に声を掛けて親しくなり、隙を見てキャッシュカード等の暗証番号を盗み見るなどした後酩酊状態にさせ、盗んだカードで現金を引き出していたモロッコ国籍の男女が警察に現行犯逮捕された。少なくとも8人が被害に遭っている。
- 12月20日、リスボン空港で、タクシーメーターを不正に操作し、観光客から高額な運賃を請求しようとしたタクシー運転者が逮捕された。平成30年中、同様の容疑で逮捕されたタクシー運転者は、12月21日現在、194名に上っている。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ポルトガルにおけるテロ関連動向は把握されなかった。

4 誘拐事件発生状況

特になし。

5 対日感情

良好。

6 日本企業の安全に関する諸問題

外国籍（日本資本を含む）企業が、脅迫や何らかの事件に巻き込まれたという事案の発生は報告されていない。